

教育カウンセラー沖縄

〒902-0061 沖縄県那覇市寄宮 1-8-48 那覇教育会館 4階 電話 098-851-5257 代表：川上 啓一

1：教育カウンセラー養成講座終了！

2月9日（土）、10日（日）、11日（月・祝日）の3日間、沖縄キリスト教学院大学において、教育カウンセラー養成講座が開催されました。初級コース42人、グレードアップコース12人、部分受講として42人の参加がありました。今回は残念ながら中級受験者はおりませんでした。今回の参加者の皆さんが今後も学びを継続し、更にブラッシュアップされることを期待しております。私ども沖縄教育カウンセラー協会は、常に会員の皆さんの学びを応援していきたいと思っております。これからも一緒に学んでいきましょう。

《A基礎コース》

①「構成的ウループエンカウンター」 上級教育カウンセラー・SGE公認リーダー 照屋初美

- ・エクササイズなど、本を読んだりして知っていたが、説明を読んだだけではあまりわからなかったが、実際やってみて、いろんなことに気づかされました。
- ・構成的グループエンカウンターを実践してみて、自己開示や他者理解について良さに気づくことができた。学校現場で働いているので、子ども達をみる視点や理解しようと思う気持ちがよりいっそう深まった。また、学級で行うことで、子ども達同士が認めあうような雰囲気を作るきっかけとして活用してみたいと思った。
- ・構成的グループエンカウンターそのものが初めての経験でドキドキでした。ドキドキの中周りの緊張感がほぐれ、ゆるやかになると自分もその集団で楽になる。その空気感をつくり出せるのがエンカウンターかなと思います。子ども達も学校という場が、楽（らく・たのしく）な場であると自己発揮がどんどうまれ、成長が育まれると思います。

②A・B合同

「アンガーマネジメントの実践」

早稲田大学教授 本田恵子

- ・行動のアセスメントの分割の細かさ。こんなに分割して、分けて一つずつ捉えていくことに驚きました。また、訓練や多角的な視点を身に付ける必要性を感じました。ASDの子が、ちゃんと分析してみると、きちんと本人は対応していた事。周囲の人間の対応の重要性を痛感しました。
- ・アンガーマネジメントの実践の話の中で、まったく同じ状態の児童がビデオに映され、本田教授がその児童の行動・言動の開設を聞きすごく納得し、校内ケース会議の時、管理職をはじめ、関係職員に話をしたいと思いました。
- ・ASDやADHDの子のどこでつまづいているのかをかりやすく伝えていただきました。専門的に支援者が理解することが重要だと、もっと深く学びたくなりました。



③ 「アセスメントの基礎」

琉球大学非常勤講師 仲村將義

- ・アセスメントは、問題、原因探しで終わってはいけない。解決するためにどのようにするかということに焦点を当てるのが大事。
- ・「学校で勉強するわけ」を改めて考えると、確かに納得のいく答えをみつけるのが難しかった。仲村先生の「生きる力をつけるため」「みんな人はつながっている」という意見は参考にしたいなと思った。支援シートの活用の中で「本人の願い」があり、今までこちら側、保護者の願いを中心にしていたので、今後は本人の願いもしっかり聞いてあげたい。
- ・「～べき」を柔軟にして、子どもたちとのリレーションづくりをしっかりと行えるようにしたいと思いました。「～に越したことはない」で、より現実的・合理的に「自分がやれることをやっていく」ように心がけたいです。うまくやれていることを増やしていくことを意識して、現場でまた頑張りたいと思いました。

④ (A・B合同)

「サイコエデュケーション」

北海商科大学教授 大友秀人

- ・サイコエデュケーションで強い心（豊かな心）を育てるを一生懸命聞いていました。最終的には自分らしく生きるとなり、今日の講座は教育相談担当の仕事としての講座から、自分のこれからの生き方の講座になりました。（私は今年3月に定年退職です。これからどう生きようか、私に訴えてきて今心がすごくゆれました。



- ・サイコエデュケーションを行う方法や留意点を話されるのか、と思っていましたが、「人生哲学」「自分らしく生きる」など、深い話、考えさせられる話もあり、とても興味深かったです。
- ・レジリエンスの鍛え方には食事や運動にも関連していることに驚いた。また、小さな成功体験を積むこと、自他で認めること、良い意味であきらめることの大切さを知った。そして「今がベスト」という言葉が、私はとても心に響いた。そういう気持ちで日々を前向きに過ごしていきたい。

⑤ 「教育カウンセリング概論」

上級教育カウンセラー 神保しげみ

- ・カウンセリングの三本柱をしっかりと理解することができました。また、教育カウンセラーの職業倫理を知る事で、子どもに関わる際に正しく（より良く）接することを意識できると思います。また、自分のビリーフを知ること、その他の自分自身のことをまず把握することもかかわるうえで大切だと感じました。
- ・子どもとの「心のふれあい（リレーション）」で、ワンネス、ウイネス、アイネスのこの3つがとても大切なだと強く話されていて、とても印象に残りました。私自身が人生体験を積む。マイナスの体験は乗り越えておく等々……。語られる中で私自身がもっと子ども達を愛でなければいけないんだなぁと反省しっぱなしでした。
- ・折衷主義。子ども達に使える（有効な手立て）は、何でも使える。理論に合わせるのではなく目の前のクライアントにとって何が必要なのか、何を大切にしていくなのかなかなと思う。



⑥A・B合同

「教科としての新しい道徳教育」

明治大学教授 諸富祥彦

- ・道徳の授業の問題点、思いやりや親切という認識は持っているものの、実践に移せない現状を、ロールプレイを通して行うことでクラス全体で共有し体験したことで、これなら子どもたちにもできるのではないかと感じました。また、相手の気持ちを確認することが親切だと言われ納得した。
- ・すべての問題はふれあい不足が原因であり、ふれあいの提供により自分を取り戻すということ。道徳の授業は一人の人間としてどう感じるかを大切にして教材を組み立てること、型にはまらない、アドリブを大切に授業をすることが大事だとわかり、大変参考になった。
- ・「一瞬に心がこもったことを言う」「この一瞬に命を懸ける…！」の言葉がとても印象に残りました。また、人間関係をエンジョイできること。いつもほろ酔い気分で働ける人がグッド!!という話が心に刻まれました。
- ・道徳科の授業が楽しくできそう（楽しいという表現でいいのかな）と、道徳科の授業に明るい光が見えました。

《グレードアップコース》

①「特別なニーズへの対応」

早稲田大学教授 本田恵子

- ・基本の対応で、注意力を育てる、見通しを立てる力、調整ができる力を育てることの具体的な例が印象に残りました。
- ・子どもの困り感があるところや、苦手だなと見えているところがどこにつながっているのか、どのように関係しているのか、学ぶことができた。
- ・学習障害にもいろいろあり、そのアセスメントをしっかりと対応しなければいけないことがわかりました。
- ・動作性LDの子を今までADHDと勘違いをしていました。もっと詳しく学んでいきたいと思います。
- ・具体的な事例と脳との関連がわかったので良かったです。

② (A・B合同)「アンガーマネジメントの実践」

③「構成的グループエンカウンターの実践と留意点」

北海商科大学教授 大友秀人

- ・いくつかのエクササイズを組み合わせる際（手段の状況を考慮しつつ）「話を聴けているか」といったことの確認を含めていること、“構成的”というものは、エクササイズ自体のみならず、ここまで考慮すべきものなのだと気づかされました。
- ・自己主張ということの大切さがよくわかりました。グループでの話し合いの中で、4月の初めに、職員同士のエンカウンターをする。そうすることで、学年の職員との関係づくりもできるということがあり、さっそく実践したいと思いました。とても充実した話し合いになりました。
- ・学校で広めるために校長に話をするロールプレイは、まさにすぐに使えると思いました。
- ・SGEのエクササイズを色々教えて頂きとてもためになりました。ビデオを見せて頂き大友先生と國分先生の結びつきの深さや、そのエッセンスを沖縄のメンバーに伝えたい思いが充分伝わりました。

④ (A・B合同)「サイコエデュケーション」

⑤ 「教師のメンタルヘルス」

明治大学教授 諸富祥彦

- ・ 援助希求できる雰囲気をつくるのが大切である。そのためには、①多忙さを見せない。②イラッとしたときは気持ちを切り変える。③声掛けをする。④受診し薬をもらう。⑤弱音を吐ける関係をつくる。忘れないでおこう。
- ・ 沖縄でもぜひセルフヘルプグループを立ち上げたい。
- ・ 援助希求。づ量とのリレーションがしっかりあれば持ちこたえられるというのは、身をもって体験しているのでそれを私も支えられるよう、寄り添いたいと思います。
- ・ 「教師は人間関係のプロである」ということばが印象に残った。人間関係はリレーションづくりが大切ということを理解しました。援助希求の「側にいるとホッとできる」援助者になりたいと思った。メンタルヘルスの対処法についてのやり方を実践できたことはとても良かったと思いました。

⑥ (A・B合同) 「教科としての新しい道徳教育」

《全体を通しての感想》

- ・ 研修を受けて元気になりました。とても忙しい時期で、3日間も受講を申し込んだ事を2月8日の夜まで思っていました…。参加して良かったです。
- ・ 講師の先生方がみんな魅力的でたのしいです。こんな気持ちで生徒たちも授業がうけられるといいなあと感じました。先生や支援者も魅力的な人間になればいいですね！
- ・ 毎回の講義がとても良く、現場の先生方へこの養成講座を教えてあげたいと思いました。



2 : SGE 宿泊体験研修・ご報告

3月23日、24日、25日の2泊3日のSGE宿泊研修が、聖クララ修道院にて開催されました。初の佐藤節子先生（山形大学大学院教育実践研究科教授）をリーダーとしてお招きしての研修となりました。奈良や千葉、青森からの参加者を含めた14名で、自分自身、そしてメンバーのかけがえなさに触れる、豊かな時間を過ごすことができました。いつもながら、シスターのおいしい手料理をたっぷりいただき、心もお腹も満ち足りた2泊3日でした。

<人は自分を理解している分しか、他人を理解することはできない>

SGE宿泊研修に参加するたびに、新しい気づきがあります。自分がどんなときに感情を揺れ動かされるのか。受容できるものと受容できないもの（価値観）は何か。どのような場合に、どのような反応をするのか、などなど。自分を知る（自己覚知）ことは、人をサポートする上で必要です。人は誰でも、自分の「思い」「感情」「考え方」など、自分の主観で他者を捉えてしまいがちだからです。だからこそ自分自身の偏りに気づくことが大切だと私は思うのです。

(神保)



3：定例会について

今決まっている定例会についてお知らせします。参加費は1回1コイン（500円）です。会場、期日等、変更になる場合がありますので、どうぞお問い合わせください。

①スクールカウンセラー勉強会

連絡係：波平利美 他

内容：スクールカウンセラーとして活動している会員の学びあい。

期日：毎月第1土曜日午前中

※会員の中でスクールカウンセラーとして活動されている方へ

SCは一人仕事ですよ。この場合はどうすればいいのだろう。

これで良かったのだろうかと迷うことが多いのではないのでしょうか。

つながりませんか？SC勉強会は、グループ・スーパービジョンです。



4：國分康隆先生を偲ぶ

4月19日に國分康孝先生が亡くなられてはや1年が経ってしまった。

國分先生がお亡くなりになって初めての今回の養成講座。講座案内のチラシには國分先生の顔写真の掲載がありませんでした。とても寂しい思いがしました。

しかし、お招きした大友先生や諸富先生から多くの國分先生とのエピソードが語られました。特に諸富先生の語り口が、國分先生を彷彿とさせる場面があり驚きました。「あ～、國分先生のしゃべり方に似ている～」と心の中でつぶやきました。

國分先生との最初の出会いは2005年3月。箱根で行われたSGE宿泊体験WSでした。その時に大枚をはたいて

『構成的グループエンカウンター事典』を購入し、見返しに國分先生と奥様の久子先生にサインを頂きました。

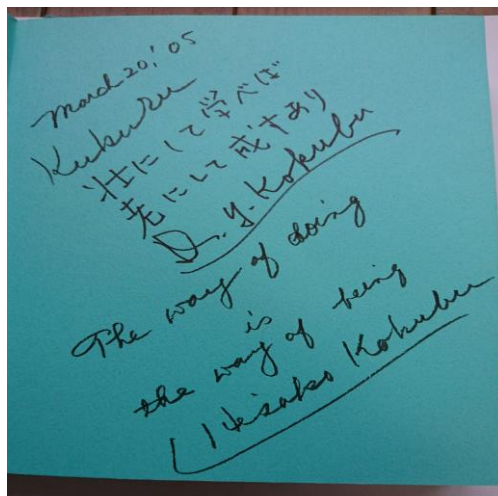


「壮にして学べば、老にして成すあり」

40歳を前に学び直しの私にとって心強く、有り難い言葉となった。あれから14年。「老いにして成すあり」を目標に学びを続けている。

國分先生にお会いしたことがない方に耳寄りな情報です。ネットで「國分康隆の談話室」と検索してみてください。在りし日の元気な國分先生が、毎回色んなテーマでお話をされています。お勧めです。

(神保)



5：お願い

○年会費について

会員の皆様にお納めいただいている年会費（3000円）は、沖縄教育カウンセラー協会の活動を支える主要な財源です。協会の継続・発展のためにも皆様方のご協力を切にお願い申し上げます。尚、年会費3年分未納の場合は自動的に退会となります。会費納入状況をご確認希望の方は事務局までお問い合わせください。

○キャンセルについて

夏期講座受講の申し込み、及びキャンセルは、（可能な限り）各講座開催の3日前までにお願いします。今年度は、皆さまのご協力で、資料や準備物の過不足の問題は改善されました。しかしながら、定員オーバーにより受講申込をお断りしたにも関わらず、当日は無断キャンセルにより受講枠に余裕がでた講座も複数ありました。引き続き、ご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

6：祝!! 國分康孝賞 受賞

日本教育カウンセラー協会創立20周年を記念して、「國分康孝賞」が設立されました。20周年という節目の年あたり、協会本部および支部の創設から今日に至るまで顕著な業績を残した者を表彰するとともに、國分康孝先生のご意志を引き継ぎ教育カウンセリングのさらなる発展に寄与することを目的としています。沖縄支部からは以下の5名の先生方が、その名誉ある「國分康孝賞」を受賞されましたので、会員の皆さまにご報告いたします。

渡久地政順先生（沖縄キリスト教短期大学名誉教授）

金城誠心会長（沖縄県教科書供給株式会社社長）

仲村將義先生（北谷町教育委員会）

稲葉律子先生（与那原町教育委員会）

神保しげみ先生（公立学校スクールカウンセラー）

表彰は、5月19日（日）に東京にて開催された日本教育カウンセラー協会設立20周年パーティーにおいて行われ、沖縄支部の重鎮渡久地政順先生は、全国109名の受賞者を代表する者（5名）として、壇上で紹介されました。國分康孝先生がご生前から渡久地先生のご功績に感謝されていたということや、渡久

地先生のことを「親友」とお感じになっていたのではないかと、というお話がありました。

國分康孝賞を受賞された5名の先生方には、そのご尽力に心より感謝申し上げます、今後ともご指導を宜しくお願いいたします。この度はまことにおめでとうございました！



JECAO

特定非営利活動法人 日本教育カウンセラー協会沖縄支部

〒902-0061 沖縄県那覇市寄宮1-8-48 那覇教育会館4階

電話 098-851-5257 FAX 098-851-5258

メールアドレス jecaokinawa@otc.ne.jp

ホームページ: <http://www.otc.ne.jp/~npo-occa/>